

共生社会ホストタウン相手国の追加について

昨年 12 月に国から指定された「共生社会ホストタウン」につきまして、本市の交流相手国が下記のとおり追加登録される旨、本日付で内閣官房より通知がありましたので、お知らせいたします。

記

- 1 交流相手国・地域 台湾（新たに追加）・韓国
- 2 今後の活動内容 台湾・韓国の車いす卓球選手との交流を契機に、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを加速させるとともに、「人にやさしいまちづくり」を全国に広めることで、共生社会の実現を目指す。

以上

明石市の共生社会ホストタウン 活動計画

台湾、韓国の子供卓球選手との様々な交流をきっかけとして、
障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを加速させるとともに、
「人にやさしいまちづくり」を全国に広めることで、共生社会の実現を目指す



ユニバーサルデザインの街づくり

心のバリアフリー



- ユニバーサルモニターを活用した市民参加型の共生のまちづくりの推進
市民公募した「あかしユニバーサルモニター」とともに駅周辺や宿泊施設、飲食店等、市内のバリアフリー環境の整備や情報アクセシビリティ等の充実を推進
(市民モニターには市内在住のパラリンピアンも就任)



- ホームドアの設置の促進による誰もが安心して利用できる鉄道駅の整備

障害当事者、市、市議会、商工会議所が連携して取り組み、県内の他の鉄道駅に先行してJR明石駅にホームドアを設置
(東京大会開催前、2020年3月までの供用開始を目ざし整備を進める)

- 市民参加型のユニバーサル交流イベントの継続実施

こどもユニバーサル交流会など障害のある人とない人が様々な体験交流を通じて楽しみながらお互いを理解し合える行事を開催

- 障害当事者との意見交換や障害者体験など様々な交流を交えた交通事業者・旅館業者への障害理解研修の実施

タクシー事業者向けの視覚障害者理解研修、商業者向け知的障害理解研修、旅館業者向け車いす利用者介助研修等



- 合理的配慮の提供を支援する公的助成制度の継続的運用による飲食店等におけるバリアフリー環境の整備と商業者への障害理解の促進

- ・市の助成を活用した点字メニュー、筆談ボード、折りたたみ式スロープの配置
- ・段差解消や通路の拡張、ローカウンター化等の工事施工
- ・制度利用をきっかけとした障害のある人とない人の交流の機会の創出と商業者の障害理解促進

